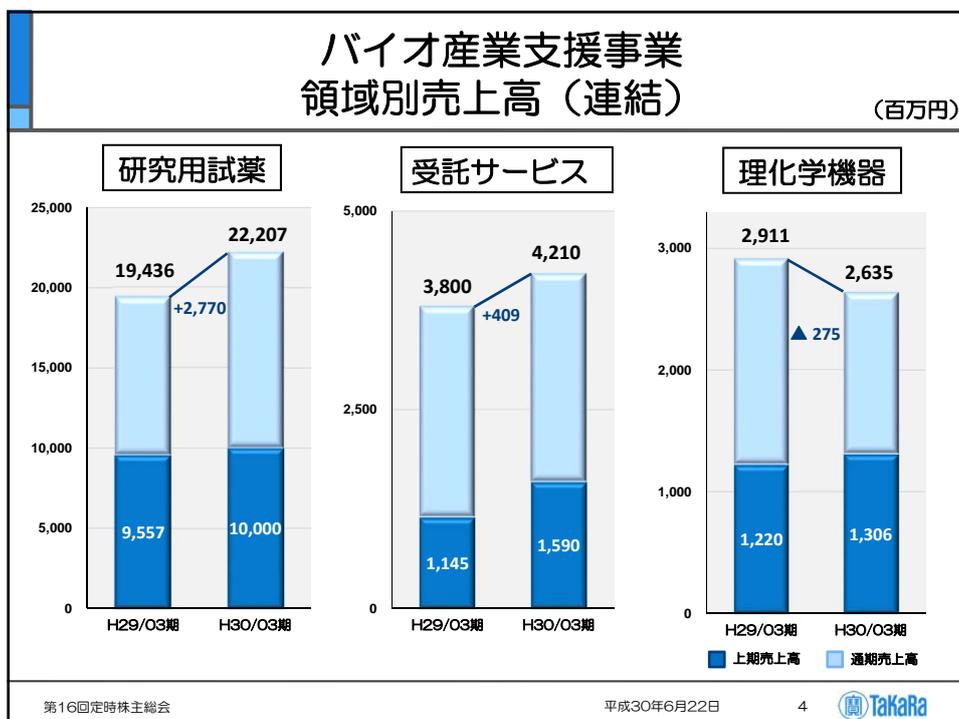
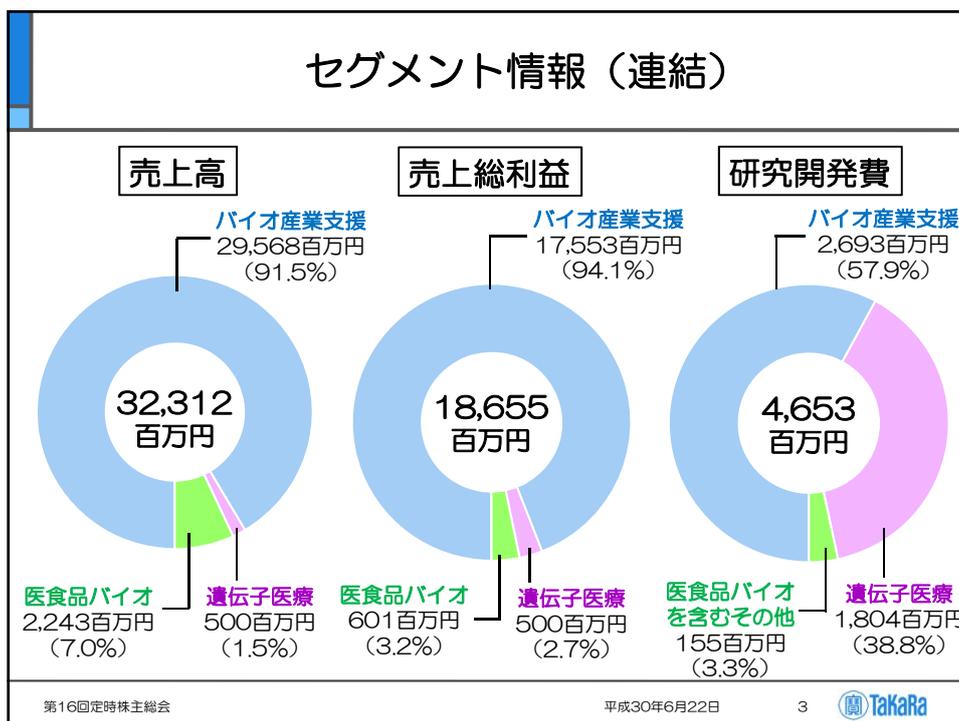


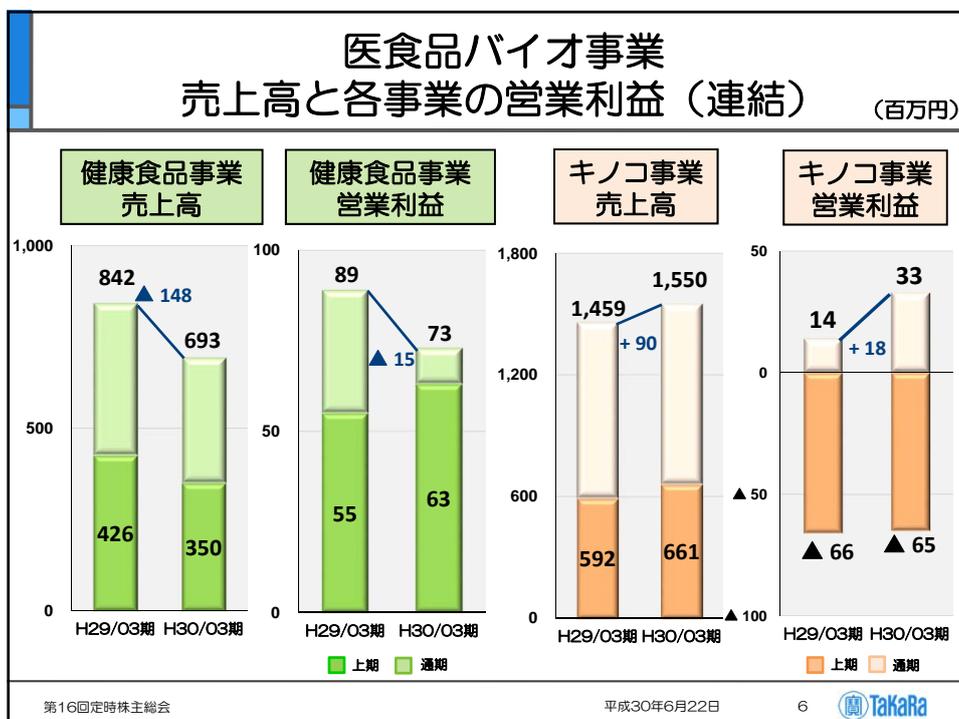
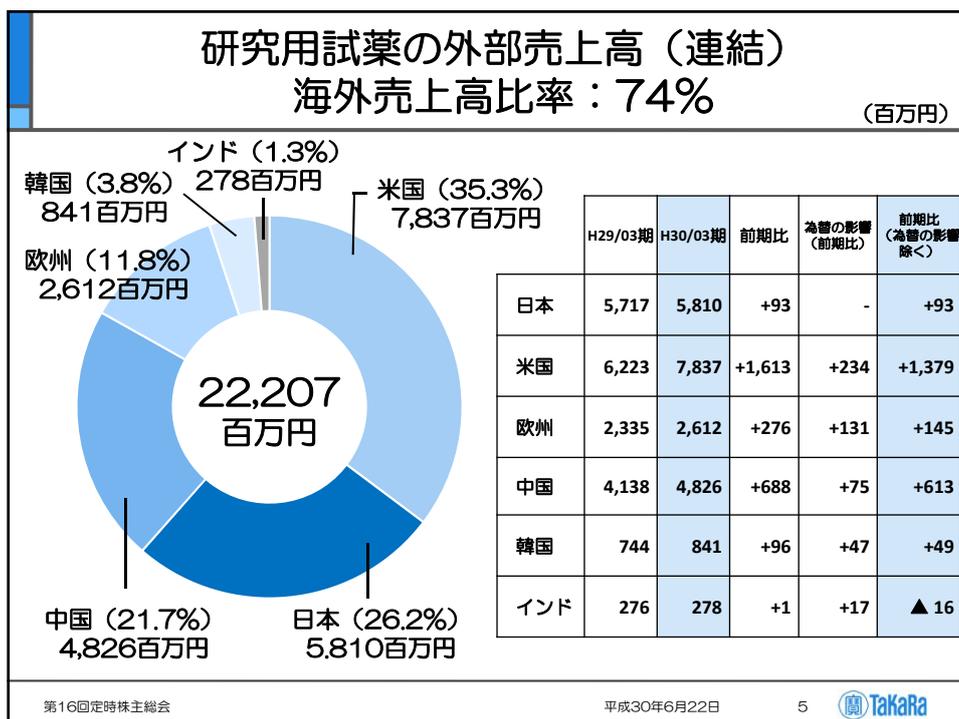


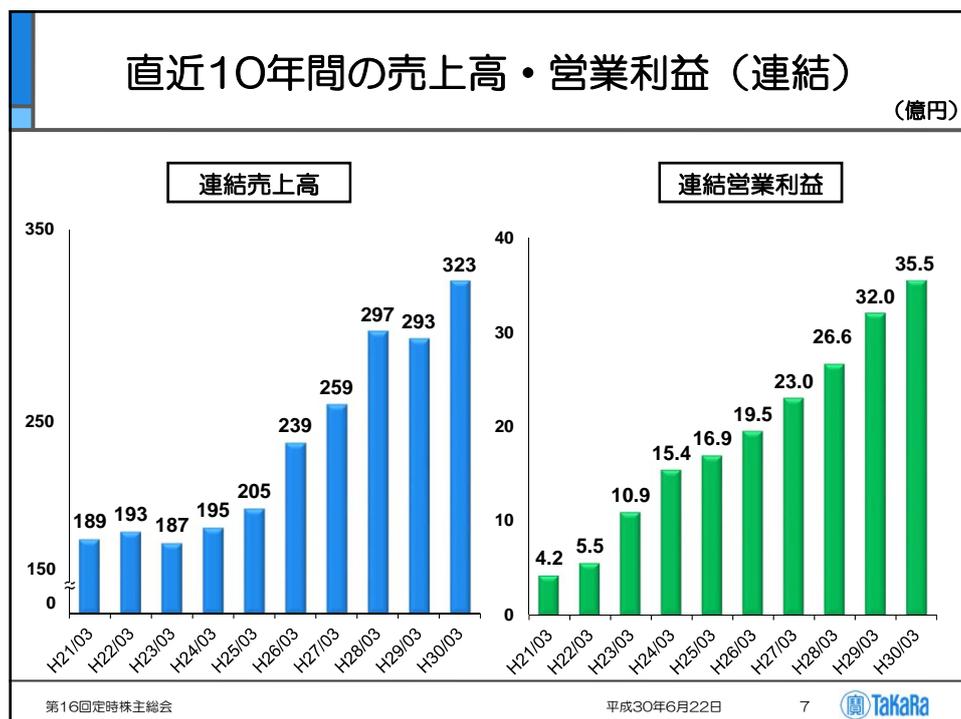
「第16期事業報告、および連結計算書類」  
「第16期計算書類（単体）」  
「中期経営計画の進捗状況」

## 連結業績

	平成30年3月期	前期比	
		増減	増減率
売上高	32,312	+2,937	+10.0%
売上原価	13,657	+1,234	+9.9%
売上総利益	18,655	+1,702	+10.0%
販売費及び一般管理費	15,099	+1,349	+9.8%
営業利益	3,555	+352	+11.0%
経常利益	3,861	+282	+7.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,335	+982	+72.6%







### 単体業績

（単位：百万円）

	平成30年3月期	前期比	
		増減	増減率
売上高	20,976	+1,553	+8.0%
売上原価	12,420	+526	+4.4%
売上総利益	8,555	+1,026	+13.6%
販売費及び一般管理費	7,654	+355	+4.9%
営業利益	900	+671	+293.2%
経常利益	2,660	+652	+32.5%
当期純利益	1,404	+143	+11.4%

第16回定時株主総会 平成30年6月22日 8 Takara

## 中期経営計画2019の進捗状況

事業目標		初年度実績
バイオ産業支援	再生医療等製品関連 CDMO事業No.1の堅持	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベクター製造、細胞加工/検査を中心に業績拡大</li> <li>今後の事業拡大を見据えて新施設建設を決定</li> </ul>
遺伝子医療	遺伝子治療薬の承認取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>HF10国内悪性黒色腫第Ⅱ相症例組入れ完了、承認申請準備中</li> <li>遺伝子改変T細胞療法の2つのプロジェクトで提携</li> </ul>
医食品バイオ	安定的営業黒字の継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>黒字継続</li> <li>キノコ事業の製販一体化を推進（関係会社に集約）</li> </ul>

第16回定時株主総会 平成30年6月22日 9 

## 医食品バイオ事業 安定的な営業黒字を継続

(百万円)

### 宝ヘルスケア社への 製品安定供給体制の構築

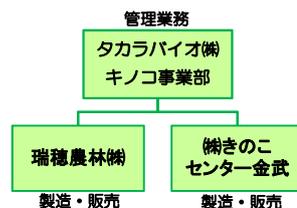
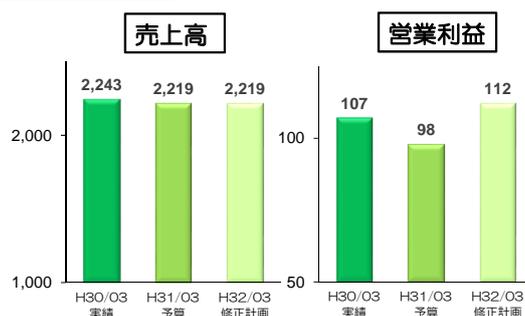
- ◆ 安定的な製品供給体制の維持
- ◆ 品質保証体制の強化
- ◆ コストダウンの実施

### 製販一体化への体制変更による 効率的事業展開

- ◆ タカラバイオのキノコ営業機能を瑞穂農林に移管し、製販一体化を図る

### キノコ製品の ブランド戦略の構築

- ◆ 本しめじの「京のブランド産品」認証の活用
- ◆ 冷凍キノコの販売強化
- ◆ 高付加価値チャネルへの販売に注力

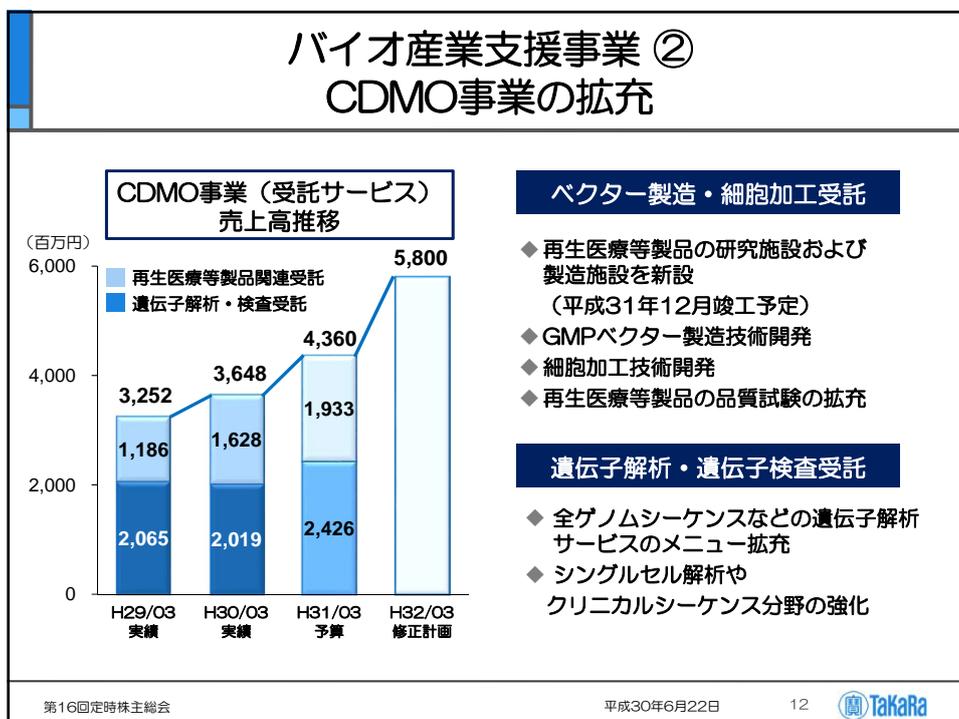
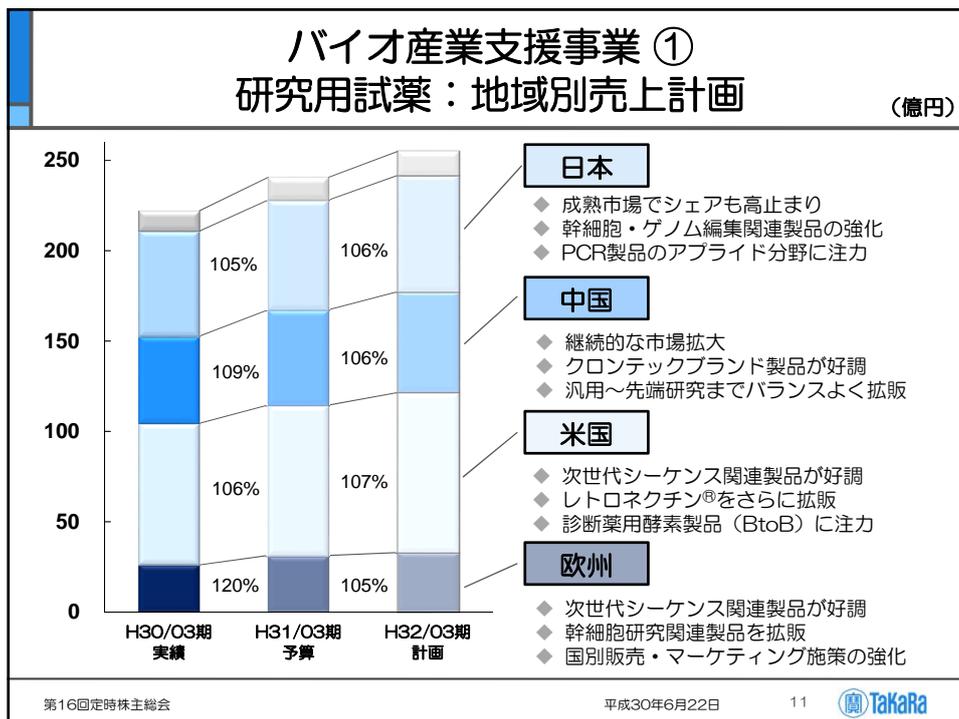


第16回定時株主総会

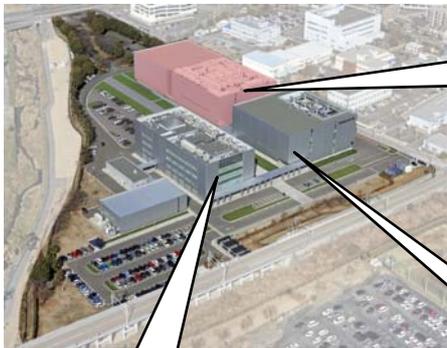
平成30年6月22日

10





## バイオ産業支援 ③ 再生医療等製品の研究開発/製造施設を新設



**新施設**

平成31年12月稼働（予定）  
約14,500㎡（未実装スペース 4,600㎡）  
再生医療等製品の製造・品質検査など受託業務、  
再生医療等製品の新規技術開発研究、  
研究用試薬類関連技術開発および製造  
ベクター製造、細胞加工、セルバンク保管、  
GMP無菌充填等

**本館研究棟**

平成27年8月稼働  
約1,200㎡  
遺伝子解析業務、一般研究エリア

**遺伝子・細胞プロセッシングセンター**

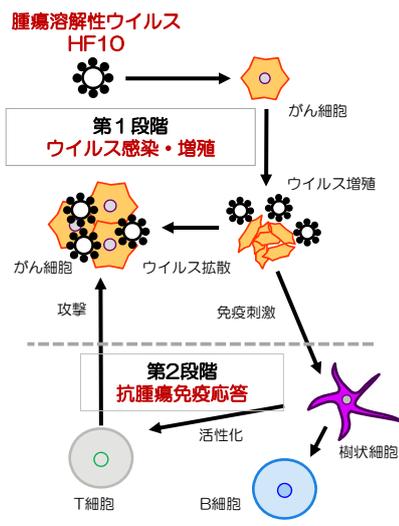
平成26年10月稼働  
約6,700㎡  
ベクター製造、細胞加工、  
セルバンク保管、GMP無菌充填、細胞検査等

第16回定時株主総会

平成30年6月22日

13

## 遺伝子医療事業 ① HF10プロジェクトの状況



- ◆ HF10の国際一般名が確定  
「Canerapturev」  
※ 略称：C-REV
- ◆ 悪性黒色腫（国内）
  - 第Ⅱ相試験、症例組入れ完了、経過観察中
  - 承認申請の準備中
- ◆ 悪性黒色腫（海外）
  - 開発パートナー探索継続
  - Nivolumabとの併用（米国医師主導治験）開始
- ◆ 膵がん（国内）
  - 第Ⅰ相試験、症例組入れ完了、経過観察中
  - 治験計画変更し、第Ⅰ相試験拡大コホート試験開始

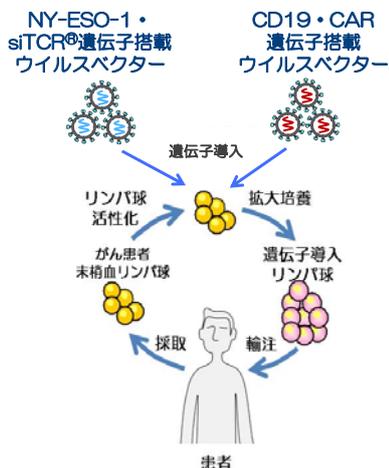
第16回定時株主総会

平成30年6月22日

14

## NY-ESO1・siTCR<sup>®</sup>およびCD19・CAR遺伝子治療薬の 共同開発・独占販売契約を大塚製薬(株)と締結

### Engineered T cell Therapy



### 目的

- ◆ 臨床開発の促進・拡大
- ◆ 上市後の販売活動

### 対象

- ◆ NY-ESO1・siTCR<sup>®</sup>遺伝子治療薬 (TBI-1301、TBI-1301-A)
- ◆ CD19・CAR遺伝子治療薬 (TBI-1501)
- ◆ 全疾患
- ◆ 日本国内 (アジア9か国は優先交渉)

### 分担

- ◆ タカラバイオ：製造・製造法検討・品質管理など
- ◆ 大塚製薬：治験・製造販売承認取得販売・安全性情報取得など

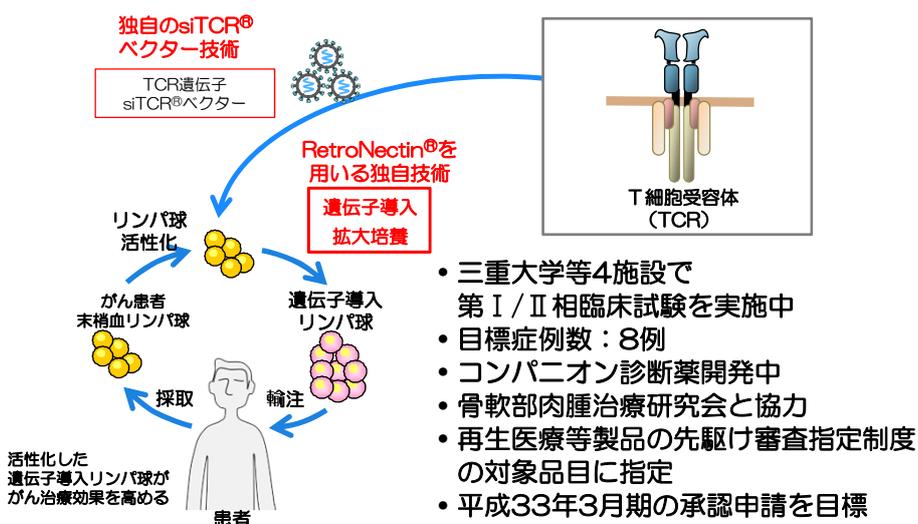
第16回定時株主総会

平成30年6月22日

15



## 遺伝子医療事業 ② NY-ESO-1・siTCR<sup>®</sup>プロジェクトの状況



- 三重大学等4施設で第I/II相臨床試験を実施中
- 目標症例数：8例
- コンパニオン診断薬開発中
- 骨軟部肉腫治療研究会と協力
- 再生医療等製品の先駆け審査指定制度の対象品目に指定
- 平成33年3月期の承認申請を目標

第16回定時株主総会

平成30年6月22日

16



### 遺伝子医療事業 ③ CD19・CARプロジェクトの状況

CAR遺伝子導入用  
レトロウイルスベクター

RetroNectin®を  
用いる独自技術  
**遺伝子導入  
拡大培養**

リンパ球  
活性化

がん患者  
末梢血リンパ球

採取

患者

遺伝子導入  
リンパ球

輸注

キメラ抗原受容体  
(CAR)

- 成人リンパ芽球性白血病（ALL）を対象
- 自治医科大学等6施設で  
第I / II 相臨床試験を実施中
- 目標症例数：21例
- PMDA等も交えた安全性に関する  
情報交換会を開催
- 平成33年3月期の承認申請を目標

※ALL：急性リンパ芽球性白血病

第16回定時株主総会

平成30年6月22日

17

### バイオ産業支援事業の拡充を通じ、研究開発基盤の強化を進め 遺伝子治療プロジェクトを連続的に創出し続ける

新規CDMO  
メニュー開発

研究用試薬  
開発

次世代遺伝子治療  
パイプライン創出

ゲノム編集  
関連技術

ウイルスベクター  
関連技術

レトロネクチン®  
遺伝子導入法  
・拡大培養法

siTCR®  
技術

PCR関連  
技術

次世代  
シーケンス  
関連技術

シングルセル  
解析技術

超微量核酸  
解析技術

細胞分化  
制御技術

第16回定時株主総会

平成30年6月22日

18

## 中期経営計画2019の修正

### 平成29年5月策定 中期経営計画定量目標

平成32年3月期 タカラバイオ連結業績  
売上高 **385 億円** 営業利益 **40 億円**

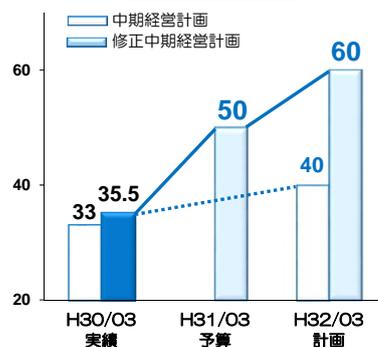


目標営業利益を前倒しで達成見込み

### 修正中期経営計画 定量目標

平成32年3月期 タカラバイオ連結業績  
売上高 **385 億円** 営業利益 **60 億円**

### 連結営業利益 (億円)



	H30/O3 実績	H31/O3 予算	H32/O3 計画
研究開発費	46	52	56